

学校の課題を克服する「チーム担任制」について

チーム担任制とは？

学級担任を一人に固定せず、複数の教員がローテーションで1つの学級を担当する仕組み。これにより、一人の担任に負担が集中せず、生徒指導や学習支援において、多面的かつ柔軟な対応が可能に。教員間の連携を深め、教育の質向上及び働き方改革の切り札としても期待されている。

〈固定担任制〉



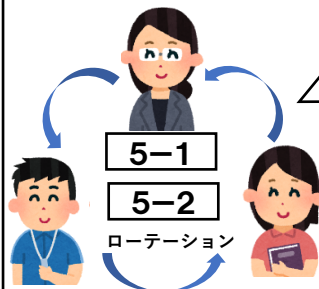
〈メリット〉

- ・生徒との深い信頼関係を築きやすい
- ・クラス方針や指導内容が一貫し、クラス運営が安定する

〈デメリット〉

- ・精神的・肉体的負担が大きい
- ・多面的な支援が困難（孤立）
- ・力量に差が生じやすい
- ・人間関係の希薄化

〈チーム担任制〉



学級担任をしない週は学年の事務処理や保護者連絡、担任のサポートを行う。

（例）
小学校5年生2学級に対し、3人の教員が1～2週間毎に入れ替わり学級運営を行う。

〈チーム担任制に期待される効果〉

1. 業務分担による**教員の負担軽減**
2. 児童生徒の多様なニーズに対する**きめ細やかな対応**
3. 子どもとの**コミュニケーションの活性化**
4. 教員の連携強化による**組織的な対応**
5. 若手教員の**指導力向上**
6. 個々の**専門性を活かす**効果的な指導

課題	対応例
<ul style="list-style-type: none"> △ 曖昧な責任の所在の明確化 △ 指導の統一化 △ 情報共有等における時間の確保 △ 保護者との連携（相談先が不明確） △ 業務分担の平準化 △ 担任変更が不安要素となる子どもへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・明文化した役割分担を基に事前に合意形成を図り、問題ごとに調整。 ・「めざす子ども像」を明確にし、指導のあり方について各取組ごとに合意形成を図る。 ・定期会議をカリキュラムマネジメントで確保し、会議の流れを統一(場所やファシリテーターを設定)チャットツールを活用し、リアルタイムで問題を共有。 ・窓口担当教員をチーム内に設定し、相談先を明確化。保護者向けガイドを配布し連絡手段を周知。保護者会や学校通信でチーム担任制の利点を丁寧に説明。 ・教科担任制や専科教員と連携し業務を削減。定例会議で進捗確認と業務の可視化を実施。 ・必要に応じて、特定の子どもに継続的に関わる「メンター」を設定。

「チーム担任制」の活用例について

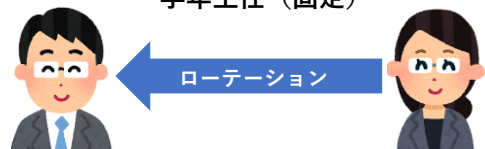
チーム担任制（中学校）

学年主任は、**全体を把握**し学年業務を行い、担任をサポート。
必要に応じて、特定の子どもに継続的に関わる「**メンター**」として生徒を支援。



学年主任（固定）

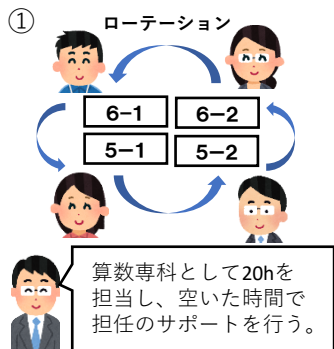
ローテーション



副担任

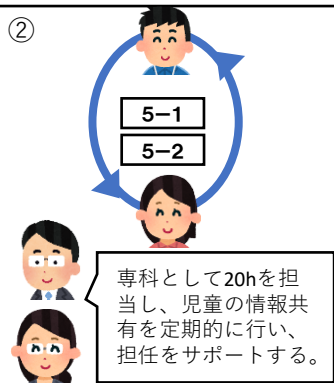
副担任を含め担任を1～2週毎に交代。**力量によるクラス差を埋めることが可能。**

教科担任制 + 交換授業 + チーム担任制（小学校）



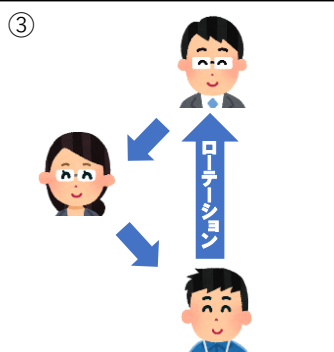
5・6年生4クラスを担当4名 専科1名(計5名)の教員で担当した場合

佐藤(担任)	国語			道徳	総合	特活	計24h
鈴木(担任)	社会	体育		道徳	総合	特活	計24h
伊藤(担任)	理科	音楽		道徳	総合	特活	計22h
高橋(担任)	外国語	家庭	図工	道徳	総合	特活	計24h
田中(算専)	算数						計20h



5年1組・5年2組を担当2名 専科2名(計4名)の教員で担当した場合

佐藤(担任)	国語	社会	図工	体育	道徳	総合	特活	計25h
鈴木(担任)	算数	音楽	家庭科		道徳	総合	特活	計22h
高橋(理専)	理科						計6h	
田中(英専)	外国語						計4h	



5年生3クラスを担当3名 専科2名(計5名)の教員で担当した場合

佐藤(担任)	国語	家庭科		道徳	総合	特活	計24h
鈴木(担任)	算数	音楽		道徳	総合	特活	計24h
伊藤(担任)	社会	体育	図工	道徳	総合	特活	計23h
高橋(理専)	理科						計9h
田中(英専)	外国語						計6h

- ・ 1～2週間毎に担任交代（交換授業を行いながら日常的から児童の様子を把握し人間関係を構築）
- ・ 専科教員との連携及び交換授業を行うことで負担軽減（授業を繰り返すことでブラッシュアップ）
- ・ 道徳や学活、総合等は、学年部で役割を分担、プリントや資料を共有し負担軽減

学期毎に担当教科を交換するなど、若手教員の授業力向上に向けた柔軟な運用も考えられる。

「チーム担任制」導入に係る他県の状況について

年	広島県		岡山県		兵庫県	
	安芸高田市 教育委員会		津山市 教育委員会		神戸市 教育委員会	
	稲美町 加古小学校		丹波市 中央小学校			
2024	R6	・全小学校「チーム担任制」本格導入 ※交替期間やチーム編成は学校毎に工夫	市内全27小学校で「チーム担任制」本格導入	4月 チーム担任制実施校拡大 モデル校 小(5)中(3) 小中一貫校 1校	業務削減 「あれば良いが、なくても困らない」 ものに関しては、大胆に削減	4月 中学年:教科担任制 高学年:チーム担任制 5月 リーフレット配布 (Q&A+チーム担任制の魅力)
2023	R5	「チーム担任制」導入のための プレゼンテーション実施 (各小学校にて校長から職員へ向けて)	「チーム担任制」を市内の小学校 13校へ拡大	4月 チーム担任制実施 モデル校 小(2)中(2)	9月 低学年も開始 ※1週間交替	4月 中学年:教科担任制 高学年:チーム担任制 5月 リーフレット配布 (Q&A+チーム担任制の魅力)
2022	R4	(教育委員会事務局) 兵庫県稲美町立加古小学校視察Ⅰ (事務局+全小学校校長) 兵庫県稲美町立加古小学校視察Ⅱ	「チーム担任制」を市内の小学校 2校にてモデル実施	4月 教科担任制の手引き作成 全小学校にて高学年教科担任制 実施	4月 中高学年から開始 ※1週間交替 1月 保護者説明会	3月 チーム担任制リーフレット配布 (成果と課題について)
2021	R3	・全小学校「教科担任制」開始 ・全中学校「チーム担任制」開始		7月 教科担任制の在り方について (報告)	8月 校長から職員へ概要説明 12月 職員アンケート実施(賛成多数) 丹波市立中央小学校視察	取組を継続
2020	R2	「チーム担任制」検討開始 ・中学校で朝会・暮会にチーム制導入 ・道徳の授業をローテーション ・希望面談(生徒が教師を選択)				4月 4年生以上で実施開始
2019	R1	富山県南砺市視察 ※コロナ渦で断念				

「小学校教科担任制」の今後の見通しについて

〈現在〉	今後の見通し
a. 小学校高学年の算数・理科のいずれか1教科を担当 b. 週あたり20単位時間以上(24単位時間を目標に) c. 条件bを満たせない場合は、中学年においても指導可 d. 小規模校においては、a~cを優先させた上で算数または理科とそれ以外の教科専科指導可 ※学級担任は不可	〈アクションプランにかかる人的支援について〉 ・35人学級の導入等、新たな施策に伴う加配の見直しを行っているため、総数が減少する可能性がある。 〈小学校教科担任制について〉 ・中央教育審議会(文部科学相の諮問機関)の特別部会 (R6.7.26) 小学校5、6年で実施している教科担任制を2025年度から3、4年に拡大するとした。 ・3~4年かけて、教員定数を拡大する予定。